

普及現地情報



発信年月日:令和8年(2026年)2月12日

所属名:湖東農産普及課

番号:F25022

発信者名:平田、高松

多賀ぶどうクラブ新規栽培者説明会を開催しました！

1月30日、多賀町、JA 東びわこと連携し、第2回多賀ぶどうクラブ新規栽培者説明会を開催し、4名の参加がありました。新規栽培者の確保に向けて、当課から、ぶどうの栽培概要や必要な施設等について説明しました。

多賀ぶどうクラブは、ぶどう「シャインマスカット」を多賀町の特産物とする目的で、令和5年8月に設立された部会です。現在、多賀町在住の農業者9名で活動しています。「シャインマスカット」のブランド化や産地化に向けて、新たに栽培に取り組む仲間を募集しています。令和7年6月に開催した第1回説明会では、6名が参加されましたが、新たな栽培開始には至らなかったため、関係機関と連携し、第2回目の説明会を開催しました。

まず、JA 東びわこから、部会の目的や活動内容について説明があり、当課からはぶどう栽培に新たに取り組んでいただけるよう、県が開発した簡易棚や根域制限栽培の技術、経営収支等について説明しました。室内での説明後、ぶどうほ場に移動し、せん定作業を体験していただきました。雪が積もり、足元の悪い中でしたが、実際に樹を見て管理作業を行うことで、ぶどう栽培を身近に感じてもらうきっかけになったと考えています。

結果、参加者のうち1名が、部会への入会と栽培開始の意向を示されました。今後は個別に対応し、植栽からスムーズに栽培が開始できるよう支援する予定です。引き続き、関係機関と連携して多賀町でのぶどう産地の形成に向けて取り組んでいきます。



ぶどう栽培の概要説明



ぶどうほ場でのせん定作業の体験